

平成 29 年度

事 業 報 告 書

公益社団法人 千島齒舞諸島居住者連盟

事業報告書

平成 29 年度事業計画に基づき次のとおり事業を実施したので、その概要を報告する。

1 北方領土返還要求運動の推進

北方領土返還要求運動の推進を図るため、関係機関及び関係団体と連携し次の事業を行った。

(1) 北方領土返還要求署名運動の推進

ア 署名活動の推進

北方領土の返還に向けた国民世論の結集を図るため、関係機関及び関係団体と連携し北方領土返還要求署名活動を行った。

① 北方領土返還要求署名運動推進北海道連絡会議の開催

開催期日等：6月30日(金) 札幌市 出席者：10名

参加団体：北海道青少年育成協会、北海道町内会連合会ほか 7団体

② 北方領土返還要求署名活動の実施

平成 29 年度署名者数	平成 29 年度末累積署名者数	摘 要
869, 809	89, 922, 986	平成 29 年度関係機関・団体別署名 収集数は巻末資料 1 参照

イ 国会請願及び政府・国会要請の実施

北方領土の早期返還及び元居住者の援護対策の推進等を図るため、政府及び国会に対し請願及び要請を行う予定であったが、国会日程等の都合により中止となった。

(2) 北方領土問題早期解決の要請

北方領土の早期一括返還、元居住者の権益保護、後継者の育成強化などについて政府及び国会議員等に要請を行った。

要請期日等	主な要請事項	要 請 先	要 請 者
4月23日(日) 札幌市	○北方領土の早期一括返還 ○自由訪問事業及び北方領土墓参の円滑な実施 ○元居住者の権益の保護等 ○後継者の育成、活動への支援	岸田外務大臣 武井外務大臣政務官 相木外務省欧州局審議官 大塚外務省欧州局日ロ共同経済活動推進室長	理事長 副理事長(萬) 札幌在住理事及び 監事 道央支部副支部長
5月24日(水) 東京都	○自由訪問事業及び北方領土墓参の円滑な実施	鶴保内閣府北方対策担当大臣 毛利外務省欧州局ロシア課長	理事長 専務理事
6月9日(金) 東京都	○北方領土の早期一括返還 ○北方領土墓参及び自由訪問事業の充実、円滑な実施 ○元居住者の権益の保護等 ○後継者の育成、活動への支援	参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会	理事長 専務理事

要請期日等	主な要請事項	要請先	要請者
6月13日(火) 東京都	○北方領土の早期一括返還 ○北方領土墓参及び自由訪問事業の充実、円滑な実施 ○元居住者の権益の保護等 ○後継者の育成、活動への支援	衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会	理事長 専務理事
7月4日(火) 東京都	○航空機による特別墓参の早期実施 ○北方墓参、自由訪問、四島交流の円滑かつ確実な実施	相木外務省欧州局審議官 山本内閣府北方対策本部審議官	北海道副知事 理事長
7月12日(水) 東京都	○北方領土隣接地域の振興に向けた財源対策	伊東衆議院議員 宮腰衆議院議員 長谷川参議院議員 三上内閣府北方対策本部審議官 大塚外務省欧州局日ロ共同経済活動推進室長 田村国土交通省北海道局長	専務理事 (北海道議会、北海道、北隣協と合同)
8月30日(水) 根室市	○希望する地域での墓参、自由訪問の実施 ○参加者の負担軽減、安全で確実な上陸のための対策の実施 ○墓地の周辺環境の整備等 ○自由訪問の対象者の拡大	江崎内閣府北方対策担当大臣 幸田内閣府審議官 齊藤内閣府北方対策本部参事官	理事長 両副理事長 専務理事 根室管内支部長及び青年部長 後継連会長
11月17日(金) 東京都	○自由訪問事業及び北方領土墓参の円滑な実施 ○元居住者の財産権の保護等	河野外務大臣 相木外務省欧州局審議官 幸田内閣府審議官 三上内閣府北方対策本部審議官	北海道知事 理事長 専務理事
12月13日(水) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○自由訪問事業及び北方領土墓参の円滑な実施 ○元居住者の権益の保護等 ○後継者の育成、活動への支援	あかま内閣府副大臣 三上内閣府北方対策本部審議官	理事長 副理事長(河) 専務理事 根室管内支部長及び青年部長等 (羅臼支部を除く)
2月8日(木) 東京都	○北対協融資制度の充実 ○自由訪問事業及び北方領土墓参の円滑な実施 ○元居住者の財産権の保護等	自民党北方調査会北方領土隣接地域の振興に関するPT	理事長 専務理事 野潟理事
3月23日(金) 東京都	○平成30年度自由訪問事業、北方領土墓参計画の早期確定 ○立入制限の解消、入出域手続の改善等	相木外務省欧州局審議官	理事長 副理事長(河) 専務理事
3月25日(日) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○自由訪問事業及び北方領土墓参の円滑な実施 ○元居住者の権益の保護等 ○後継者活動への支援	福井内閣府北方対策担当大臣 三上内閣府北方対策本部審議官	理事長 両副理事長 専務理事 根室管内支部長及び青年部長等

(3) 北方領土問題に関する研修

ア 北方領土問題セミナー

北方領土問題を巡る現状や歴史的経緯等に対する理解と認識を深めるため、理事、監事及び一般住民を対象とするセミナーを開催した。

開催期日等	内 容
4月25日(火) 札幌市 出席者 52名	〈講演〉 演題：「地元紙で読む北方領土の現状」 講師：拓殖大学海外事情研究所教授 名越 健郎 氏 〈質疑等〉

イ 北方領土問題地域学習会

北方領土問題への理解と認識を深めるため、各地域の元島民等や地域住民を対象に地域学習会を開催した。

主管支部	開催期日等	内 容
オホーツク支部	11月4日(土) 北見市 出席者 60名	〈高校生による出前講座〉 北海道根室高等学校 1年 高岩 寧々 氏 同上 1年 中野 優美 氏 (北方領土根室研究会所属) 〈洋上セミナー体験発表〉 北見市立南小学校 5年 岸本悠太郎 氏
十勝支部	11月12日(日) 帯広市 出席者 66名	〈講演〉 演題：「北方領土問わず語り」 講師：落語家 三遊亭金八 氏 (志発島二世) 〈語り部〉 安田 愛子 氏 (択捉島) 佐藤 一郎 氏 (国後島二世)

ウ 指導者養成研修会

北方領土問題について一般国民の理解と協力を得ることを推進するため、各支部の役員等を対象に返還運動のあり方、当連盟の実施事業等について検討協議する研修会を開催した。

開催期日等	内 容
5月30日(火) 札幌市 出席者 21名	①北方領土返還要求運動の推進 ②北方領土返還の啓発 ③北方四島訪問事業等の実施 ④後継者の育成 ⑤組織基盤の強化

(4) 北方領土関連資料の収集・保存

戦後70年以上が経過し、元島民の高齢化、減少に伴い、自由訪問及び北方領土墓参事業における目的地への移動等に支障を来していることから、円滑な事業実施に資する資料として「北方四島墓地・元居住地概況調査報告書～国後島～」を作成した。

(5) 地域活動の推進

それぞれの地域で実施している北方領土返還要求運動を支援するため、千島連盟各支部へ活動交付金を交付し、また、青年部を設置している支部には、後継者による返還要求運動を推進するための活動交

付金を交付し、支部における地域活動を推進した。

(6) 北方領土返還要求運動各種大会等への参画

関係機関及び関係団体が実施する北方領土返還要求運動に参画した。

行 事 名 等	行 事 名 等
8月6日 北方領土返還要求根室市民大会（根室市）	12月1日 北方領土返還要求アピール街頭啓発（札幌市）
8月12日 北方領土返還要求中標津住民大会（中標津町）	1月20日 第32回“北方領土を考える”高校生弁論大会（札幌市）
8月25日 北海道・東北国民大会啓発街頭行進（札幌市）	2月5日 第69回さっぽろ雪まつり北方領土返還要求署名活動
8月25日 2017北方領土返還要求北海道・東北国民大会（札幌市）	～12日（札幌市）
9月18日 第13回北方領土まで歩こう会（根室市）	2月7日 平成30年「北方領土の日」祈念大阪府民大会（大阪市）
10月2日 北方領土啓発塔除幕式（札幌市）	2月7日 平成30年北方領土返還要求全国大会（東京都）
11月27日 第36回北方領土返還要求山形県民大会（新庄市）	2月7日 2018北方領土フェスティバル（札幌市）
12月1日 北方領土返還要求行進中央アピール行動・街頭啓発（東京都）	2月7日 2018「北方領土の日」根室管内住民大会（根室市）

2 北方領土問題に関する啓発

北方領土返還要求運動を啓発するため次の事業を行った。

(1) 啓発活動の推進

ア 各種啓発事業の実施

地域住民等に、北方領土問題への理解と関心を深めてもらうための啓発活動として、千島連盟の各支部を中心とした地域において、啓発資料の作成、「語り部」等による講演会、パネル展示、イベント会場等での署名活動など、各種啓発事業を行った。

イ 啓発推進員の配置

地域住民等に、北方領土問題への理解と協力を得るため、函館、オホーツク、釧路、別海町、中標津、標津、羅臼及び富山の8支部に「啓発推進員」を配置し、啓発活動や元島民及び後継者の返還要求運動への参加促進を図った。

(2) 広報紙の発行

返還要求運動や啓発事業などの情報提供を行うため、「返せわれらが故郷」（240号、241号、242号）を各3,900部発行し、会員及び関係機関・関係団体等のほか、希望する一般住民へ配布した。

(3) 「北方領土の語り部」事業

ア 語り部の育成

元島民後継者が元島民の思いを語り継ぐ「語り部」の重要性を認識し、その役割を担うよう育成するため講習会を行うとともに、地域住民を対象に発表会を行った。

対象支部	開催期日等	出席者	語り部
函館支部	11月5日(日) 函館市	元島民等 17名 一般参加者 28名	元島民：木元 護 氏（国後島） 後継者：山本 由美 氏（択捉島二世） 後継者：木村 吉伸 氏（志発島二世）

対象支部	開催期日等	出席者	語り部
富山支部	1月21日(日) 黒部市	元島民等 30名 一般参加者 6名	元島民：吉田 義久 氏 (水晶島) 後継者：松原 隆志 氏 (多楽島二世) 後継者：佐原 春光 氏 (志発島二世) 後継者：濱松 禎高 氏 (水晶島二世)

イ 語り部事業の実施

元島民が北方領土への望郷の思いや四島での貴重な体験などを語り伝え、北方領土問題や北方領土返還要求運動に対する国民意識の高揚を図るため、関係機関及び関係団体と連携し、「語り部」事業を道内外で実施した。

区分	開催期日等	共催	出席者	語り部
道内	11月28日(火) 雄武町	北海道	町立共栄小学校 全校児童：8名	武田 勝三 氏 (択捉島)
	11月29日(水) 浜頓別町		町立頓別小学校 全校児童：9名	武田 勝三 氏 (択捉島)
道外	6月19日(月) 岩手県盛岡市	全国地域婦人団体連絡協議会 岩手県地域婦人団体協議会	参加者：300名	眞下 清 氏 (国後島)
	8月17日(木) 広島県世羅町	全国地域婦人団体連絡協議会 広島県地域女性団体連絡協議会 せらにし女性会	参加者：50名	松本 侑三 氏 (択捉島)
	9月21日(木) 熊本県熊本市	全国地域婦人団体連絡協議会 熊本県地域婦人会連絡協議会	参加者：100名	野口 繁正 氏 (国後島)
	9月27日(水) 長崎県佐世保市	全国地域婦人団体連絡協議会 長崎県地域婦人団体連絡協議会 江迎町地域婦人会	参加者：70名	清田 進 氏 (志発島)
	11月16日(木) 山口県山口市	全国地域婦人団体連絡協議会 山口県連合婦人会	参加者：85名	児玉 泰子 氏 (志発島)
	12月6日(水) 佐賀県佐賀市	全国地域婦人団体連絡協議会 佐賀県地域婦人連絡協議会	参加者：100名	児玉 泰子 氏 (志発島)

ウ 語り部の派遣

北方領土問題への関心と北方領土返還要求運動に対する意識の高揚を図るため、「北方領土の語り部」として元島民や後継者を関係機関及び団体等が実施する研修会、学習会等に派遣した。

〈派遣状況〉

派遣事業名 (主催)	派遣数	派遣事業名 (主催)	派遣数
北方四島交流事業等研修会 (道推委・北対協)	18名	現地大会、研修会 (連合、全国地婦連など)	7名
北方領土青少年等現地視察支援事業 (各県民会議)	18名	元島民の北方領土を語る会 (北方同盟)	6名
セミナー、講演会 (北海道、北対協)	13名	修学旅行、特別授業	5名
後継者育成ステップアップ事業 (北海道)	12名	北方領土学習会 (教育者会議)	4名
県民大会、研修会等 (県民会議)	11名	各支部等による派遣	155名

派遣事業名（主催）	派遣数	派遣事業名（主催）	派遣数
各種研修等（北対協、北海道など）	11名	千島連盟主催事業	13名
		合 計	273名

3 北方地域元居住者等の援護対策の推進

元居住者の援護対策の推進を図るため、次の事業を行った。

(1) 援護問題対策事業

ア 援護問題等専門委員会（財産権の保護に関する検討会議）

元島民等の財産権不行使による損失補償や在島残置財産の保護等の問題について研究討議を行うため、援護問題等専門委員会に代わり企画運営委員会委員と元援護問題等専門委員会委員で構成する検討会議を開催するとともに、元島民と後継者による会議を開催した。

開催期日等	協 議 事 項
8月23日(水) 札幌市 出席者 11名	〈協議事項〉 ・財産権の保護に関する今後の要望について
2月20日(火) 札幌市 出席者 20名	〈協議事項〉 ・財産権の保護に関する今後の要望について ・北対協の融資制度改善に関する要望について

イ 援護対策相談事業

北方領土問題に関連する諸問題の一つである元島民等の戸籍、在島残置財産、北対協融資制度等の援護問題について、相談・助言を行った。

① 戸籍、在島残置財産相続に係る指導、助言

元島民等の戸籍、在島残置財産である土地、建物の相続申出手続き等について指導、助言を行った。

② 北対協融資制度利用に関する相談、助言

元居住者等の援護措置として設けられている北対協融資制度の利用に関し、相談、助言を行った。

③ その他援護問題に関する指導、助言

元島民の援護対策の推進を図るため、役職員等が各支部を訪問し、元居住者に係る援護問題の現状等を把握するとともに、解決に向けての指導や助言を行った。

訪 問 日	訪 問 先	訪 問 日	訪 問 先
4月8日(土)	オホーツク支部	4月23日(日)	道北支部
4月15日(土)	函館支部	4月23日(日)	十勝支部
4月15日(土)	別海町支部	4月29日(土)	釧路支部
4月15日(土)	標津支部	5月13日(土)	富山支部
4月15日(土)	羅臼支部	2月7日(水)	関東支部
4月21日(金)	中標津支部	3月11日(日)	厚岸支部
4月22日(土)	道央支部	3月11日(日)	浜中支部
4月23日(日)	根室支部		

(2) 北方四島自由訪問事業

ア 北方四島への自由訪問の実施

人道的見地及び北方領土問題解決のための環境整備の一環として、元島民とその家族による北方四島への自由訪問事業を次のとおり実施した。

区分	訪問地	期間	参加者数	使用船舶	備考
第1回	国後島 ニキシロ 瀬石 東沸	5.15 ～ 5.18	元島民等 37 子の配偶者等 11 同行者 11 計 59	えとぴりか	ロシア側との調整がつかず、予定地すべて立入できず
第2回	色丹島 斜古丹・クリル人墓地 アナマ 稲茂尻 チボイ	6.2 ～ 6.5	元島民等 36 子の配偶者等 7 同行者 11 計 54	えとぴりか	悪天候のため、訪問中止
第3回	択捉島 ウエンバフコツ 内保	6.23 ～ 6.26	元島民等 41 子の配偶者等 9 同行者 11 計 61	えとぴりか	悪天候のため、洋上慰霊を実施
第4回	国後島 ブニ オタトミ 古丹消 ハッチャス	7.14 ～ 7.16	元島民等 34 子の配偶者等 6 同行者 11 計 51	えとぴりか	ロシア側との調整がつかず、日程を一日短縮して実施（オタトミのみ上陸）
第5回	色丹島 斜古丹・クリル人墓地 アナマ 稲茂尻 チボイ	8.1 ～ 8.4	元島民等 26 子の配偶者等 3 同行者 10 計 39	えとぴりか	当初計画の水晶島訪問はロシア側との調整がつかず中止とし、第2回色丹島訪問を実施
第6回	択捉島 グヤ 入里節 十五夜萌	8.14 ～ 8.17	元島民等 38 子の配偶者等 5 同行者 11 計 54	えとぴりか	悪天候のため、洋上慰霊を実施
第7回	多楽島 フルベツ ヒラリウス	9.5 ～ 9.7	元島民等 45 子の配偶者等 8 同行者 11 計 64	えとぴりか	台風の影響により、日程を一日短縮して実施
計	4島 18箇所		元島民等 257 子の配偶者等 49 同行者 76 計 382		

イ 島民組織代表者会議

元島民の立場から、北方領土問題の現状等や自由訪問事業等について協議検討し、相互の連携を深め北方領土問題への理解と協力を得るため、代表者会議を開催した。

開催期日等	内 容
10月11日(水) 根室市 出席者 16名	①平成29年度北方四島自由訪問事業の実施状況 ②平成29年度北方領土墓参・北方四島交流の実施状況 ③平成30年度北方四島自由訪問事業等の実施箇所検討(案) ④その他

(3) 北方領土墓参事業

人道的見地から北海道が実施している北方領土墓参について、北海道からの委託事業として、団員選考等の業務を行うほか、当連盟事業として訪問墓地での慰霊、法要を行った。

区分	墓 参 地	期間	参加者数	使用船舶	備 考
第1班	国後島 白糠泊 乳呑路	7.26 ～ 7.28	遺 族 31 同行者 14 計 45	えとぴりか	悪天候のため上陸できず、シラオイ(オホーツク海側)で合同慰霊
第2班	国後島 ラシコマンベツ 植内 植沖	8.7 ～ 8.10	遺 族 32 同行者 14 計 46	えとぴりか	
第3班	勇留島 トコマ 志発島 西浦泊	8.30 ～ 9.1	遺 族 40 同行者 15 計 55	えとぴりか	
瀬石墓参	国後島 瀬石	8.1 ～ 8.4	遺 族 5 同行者 1 計 6	えとぴりか	第5回自由訪問に同乗
計	3島8箇所		遺 族 108 同行者 44 計 152		

(4) 特別墓参

「独立行政法人北方領土問題対策協会」が実施する航空機による墓参事業に次のとおり参加した。

期 間	参加者数	訪 問 先
9月23日(土)～24日(日)	70名 (うち元島民等 33名)	国後島：近布内、古釜布 択捉島：紗那、別飛

(5) 北方四島交流事業(ビザなし訪問)

北方領土問題解決に向けた環境づくりのため、「北方四島交流北海道推進委員会」及び「独立行政法人北方領土問題対策協会」が実施する北方四島交流事業(訪問)に次のとおり参加した。

実施主体	期 間	参加者数		訪問先	使用船舶	備 考
			うち 元島民等			
推進委	5. 19～5. 22	65	12	国 後 島	えとぴりか	8/27は悪天候により上陸できず
	6. 8～6. 11	61	11	択 捉 島		
	8. 25～8. 28	45	7	国 後 島		
	〃	20	10	択 捉 島		
	9. 8～9. 11	64	0	色 丹 島		
小計	5 回	255	40			
北対協	7. 6～7. 10	61	5	国後島・択捉島	えとぴりか	悪天候のため日程を一日短縮
	7. 20～7. 24	58	5	国後島・択捉島		
	8. 18～8. 21	65	0	色 丹 島		
	9. 15～9. 17	58	7	国 後 島		
小計	4 回	242	17	—	—	
合計	9 回	497	57	—	—	

※各回に「北方領土の語り部」として元島民1名が参加

4 後継者の育成

今後の返還運動の担い手となるべき後継者の育成を図るため、次の事業を行った。

(1) 後継者活動の推進

ア 後継者活動委員会

元島民後継者の活動を促進し、後継者の育成を図るため、後継者事業全般について協議検討を行う委員会を開催した。

開催期日等	内 容
5月28日(日) 札幌市 出席者 委員17名	①北方領土返還要求後継者街頭啓発事業について (平成28年度の総括、今後の展開について) ②後継者活動等に関する今後の事業展開について ③その他

イ 後継者街頭啓発

後継者対策の強化及び国民の北方領土問題に対する理解と認識を深め、国民世論の高揚を図ることを目的に、次の事業を行った。

開催期日等	イ ベ ン ト 名 ・ 内 容
3月3日(土) ～4日(日) 札幌市 後継者等 33名	「学ぼう!!北方領土」 パネル展示等(基礎知識、ポスターコンテスト入賞作品、活動報告等)、DVD放映、パターゴルフコーナー、署名コーナー、クイズコーナー、キッズコーナーなど

ウ 後継者の派遣研修

北方領土問題に対する視野を広め、地域活動のリーダーを育成するため、後継者の派遣研修を行った。

派遣日	派遣先	派遣者
12月1日(金)	北方領土返還要求行進中央アピール行動・街頭啓発(東京都)	5名
2月7日(水)	平成30年北方領土返還要求全国大会(東京都)	5名

(2) 後継者研修事業

ア 後継者活動促進全国セミナー

今後の北方領土返還要求運動の担い手となる元島民後継者や若い世代の一般市民を対象に、北方領土問題への理解と認識を深めるためのセミナーを開催するとともに、元島民後継者間の連携強化及び後継者活動の促進を図るため、意見交換を行った。

開催期日等	内 容
10月14日(土) ～15日(日) 札幌市 出席者 40名	①講演 演題：「北方領土とロシア」 講師：産経新聞社専務取締役副社長 齋藤 勉 氏 ②元島民後継者対策事業等について ③日ロ共同経済活動に係る連盟の要望事項等について ④講演 演題：「ロシアのCool Japan～これからの民間外交のあり方」 講師：関東支部 西田 裕希 氏 (国後島三世) ⑤質疑・意見交換

イ 後継者研修会

今後の北方領土返還要求運動の担い手となる元島民後継者が、北方領土問題及び北方領土返還要求運動の推進等について協議・検討するとともに、さっぽろ雪まつり会場で署名活動を行った。

開催期日等	内 容
2月11日(日) ～12日(月) 札幌市 出席者 45名	①講演 演題：「北方四島交流事業四半世紀を振り返って」 講師：ロシア語通訳 塚本 三樹夫 氏 ②元島民による語り部 松本 侑三 氏 (択捉島) ③ビザなし訪問参加報告 釧路支部 佐久間 陽介 氏

ウ 北方領土問題現地青年の集い

北方領土問題への認識を深めるため、北方領土の隣接地域において、元島民後継者が企画した研修会を開催した。

開催期日等	内 容
5月20日(土) 別海町 出席者 50名	①講演 演題：「現地根室から見た北方領土問題」 講師：北海道新聞社根室支局 犬飼 裕一 氏 ②元島民による語り部 長谷川ヨイ 氏 (択捉島) ③北方領土紙芝居

(3) 後継者キャラバン事業

各支部の後継者によるキャラバン隊を編成し、訪問地における当該自治体首長等へのアピール、パネル展及び署名活動等を通して、北方領土問題の啓発と後継者活動の活性化を図った。

実施期間等	訪問先
9月22日(金)～25日(月) 隊員数 24名	岩手県盛岡市

(4) 北方領土青少年洋上セミナー

若い世代の北方領土問題への理解と意識向上を図るため、一般の青少年を対象に、語り部や洋上視察等を通して北方領土問題について学習する洋上セミナーを元島民後継者が企画し開催した。

開催期日等	参加者	内容
7月9日(日) 羅臼町	元島民後継者 26名 北海道内在住の 一般青少年等 100名	①学習会「北方領土のお話」 後継連会長 城戸千尋 氏 ②高校生による出前講座 ③北方領土クイズ ④洋上視察(航路: 羅臼港～知床岬～羅臼港)

5 千島会館の運営

北方領土問題に関する啓発・研修及び元島民等の援護・組織活動の拠点施設として千島会館の供用を図るとともに、千島会館利活用運営検討会を開催した。

〈千島会館の利用状況〉

【利用回数】 165回
【利用人数】 延べ 2,984名

6 医療支援促進事業の実施

外務省との委託契約に基づき、我が国政府が、平和条約締結交渉のための環境整備に資することを目的として実施している北方四島住民支援事業(患者受入事業、医師・看護師等研修事業等)について、北方四島の医療事情の把握と新たな医療ニーズを調査し、これら支援事業のフォローアップを行うとともに、北方四島住民に対する中・長期的な医療支援という観点から、同事業の枠内で北方四島との遠隔医療について、その可能性を調査の上、医療支援事業に関する提言を含む報告書を外務省に提出した。

7 組織基盤の強化

連盟における組織基盤の強化と地域活動の推進を図るため、次の事業を行った。

(1) 北方領土返還要求運動推進功労者等の表彰

ア 内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策担当)による表彰

多年にわたり北方領土返還運動に尽力し、顕著な功績のあった者が表彰された。

【受賞者】

・木根 繁 氏(根室支部) ・油本 芳春 氏(富山支部) ・臼田 誠治 氏(別海町支部)

イ 千島連盟理事長による表彰

北方領土返還運動の推進、連盟の組織強化及び事業の推進に顕著な功績のあった者に対する表彰を行った。

【 功勞者表彰 】

- ・板倉 稔 氏 (道央支部) ・小野 欣吾 氏 (厚岸支部) ・畠山 竹士 氏 (厚岸支部)
- ・掛川 忠雄 氏 (根室支部) ・佐藤 一正 氏 (根室支部) ・松倉 進 氏 (根室支部)
- ・宮谷内亮一 氏 (根室支部) ・舘下 雅志 氏 (中標津支部) ・田村 明 氏 (前専務理事)

(2) 会員加入の促進

連盟組織の維持向上を図るため、各支部及び「島民の会」との連携の下に未加入となっている元島民及び後継者に対し会員への加入促進を行った。

【平成 29 年度新規加入者数】 130 名 (元島民 22 名、後継者 108 名)
(会員数の状況は巻末資料 2 参照)

(3) 通常総会等の開催

業務の適切かつ円滑な運営を図るため、通常総会及び理事会等を開催した。

ア 通常総会

開催期日等	議 題
5 月 29 日(月) 札幌市 出席者 111 名 委任状及び議決権行使書提出者 1,570 名 計 1,681 名	①平成 28 年度事業報告に関する件 ②平成 29 年度事業計画及び平成 29 年度収支予算に関する件 ③平成 28 年度収支決算に関する件 ④理事選任に関する件 ⑤監事選任に関する件

イ 理事会

開催期日等	議 題
第 1 回 4 月 26 日(水) 札幌市 出席者 22 名	①平成 29 年度通常総会の招集に関する件 ②平成 28 年度事業報告に関する件 ③平成 28 年度収支決算に関する件 ④平成 29 年度通常総会の進行次第 (案) について ⑤平成 29 年度通常総会の提出議案 (議案書) について ⑥宣言 (案) 及び決議 (案) について ⑦理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況の報告に関する件 ⑧千島連盟理事長表彰に関する件 ⑨平成 29 年度監事監査計画に関する件
第 2 回 5 月 29 日(月) 札幌市 出席者 23 名	①理事長、副理事長及び専務理事の互選について ②企画運営委員会委員の選任について ③顧問の選任について
第 3 回 2 月 21 日(水) 札幌市 出席者 21 名	①理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況の報告に関する件 ②平成 30 年度事業計画 (案) に関する件 ③平成 30 年度収支予算 (案) に関する件

ウ 監事監査

実施期日等	実施監事	監 査 対 象
第 1 回 4 月 20 日 (木) 千島会館	金田 慎吾 本田 幹子	平成 28 年度千島会館の業務執行及び財産並びに会計の状況
第 2 回 4 月 24 日 (月) 連盟事務局	金田 慎吾 本田 幹子	平成 28 年度千島連盟（千島会館を除く）の業務執行及び財産並びに会計の状況

エ 企画運営委員会

開催期日等	議 題
第 1 回 8 月 23 日 (水) 札幌市 出席者 9 名	①自由訪問、北方領土墓参の実施状況等について ②後継者活動の実施状況等について ③「北方領土の語り部」の実施状況等について ④北方四島医療支援促進事業の実施状況等について ⑤国への要請活動について ⑥墓地の調査・保全と今後の自由訪問・北方領土墓参について ⑦今後の要望活動について
第 2 回 12 月 7 日 (木) 札幌市 出席者 9 名	①要請活動について ②平成 30 年度自由訪問、北方領土墓参の実施計画（案）について ③北方領土隣接地域振興等基金について ④共同経済活動に関する調査について ⑤内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）表彰について ⑥平成 30 年度内閣府・外務省の概算要求について ⑦北対協融資の改善要望について ⑧創立 60 周年記念事業について ⑨「元島民による北方領土を語る会」について ⑩会費未納会員に係る取組みについて
第 3 回 3 月 5 日 (月) 札幌市 出席者 9 名	①北方四島交流代表者間協議の開催結果について ②国会請願について ③会費と会員資格について ④北対協の融資制度改善に関する要望について ⑤理事長表彰について

附属明細書

平成 29 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないことから作成していない。

<資料1>

平成29年度 関係機関・団体別署名収集数

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

団 体 名	署 名 収 集 数
公益社団法人全国自衛隊家族会	157,865
北海道総務部北方領土対策本部	96,314
公益社団法人北方領土復帰期成同盟	85,275
長野県民会議	84,554
宮城県民会議	65,073
愛知県民会議	65,001
長崎県民会議	55,395
公益社団法人千島齒舞諸島居住者連盟	47,832
石川県民会議	45,599
和歌山県民会議	44,962
群馬県民会議	39,878
愛媛県民会議	22,069
上記以外の県民会議	35,684
その他	24,308
合 計	869,809

公益社団法人千島齒舞諸島居住者連盟

<資料2>

平成29年度 会員数

(平成30年3月31日現在)

支部名	元島民数 30.3.31現在	平成29年度 正会員数	左 の 内 訳				賛助会員数		会員合計	
			新規会員数		継続会員数		団体	個人		
			元島民	後継者	元島民	後継者				
道 央	949 (53)	396 (7)	4 (1)	24	180 (6)	188	0	25	421 (7)	
函 館	250 (11)	91 (1)	2 (0)	2	52 (1)	35	0	1	92 (1)	
道 北	194 (4)	78 (1)	0 (0)	4	39 (1)	35	0	0	78 (1)	
オホーツク	281 (6)	147 (2)	0 (0)	6	72 (2)	69	0	9	156 (2)	
十 勝	189 (6)	63 (1)	1 (1)	1	36 (0)	25	0	1	64 (1)	
釧 路	776 (43)	187 (8)	0 (0)	6	111 (8)	70	0	1	188 (8)	
厚 岸	56 (1)	62 (1)	0 (0)	0	30 (1)	32	0	1	63 (1)	
浜 中	47 (5)	49 (3)	0 (0)	0	25 (3)	24	0	1	50 (3)	
根 室	1,182 (60)	646 (9)	3 (0)	21	296 (9)	326	4	18	668 (9)	
別海町	117 (8)	176 (3)	0 (0)	3	63 (3)	110	2	3	181 (3)	
中標津	112 (7)	120 (2)	0 (0)	2	50 (2)	68	4	9	133 (2)	
標 津	73 (5)	104 (2)	0 (0)	1	34 (2)	69	0	7	111 (2)	
羅 臼	99 (7)	114 (4)	0 (0)	0	33 (4)	81	2	0	116 (4)	
関 東	708 (65)	369 (9)	3 (0)	18	128 (9)	220	0	0	369 (9)	
富 山	481 (5)	284 (1)	5 (0)	7	116 (1)	156	1	5	290 (1)	
支 部 以 外	道内	302 (10)	82 (2)	3 (0)	4	42 (2)	33	2	6	90 (2)
	道外	553 (32)	217 (6)	1 (0)	9	101 (6)	106	1	7	225 (6)
合 計	6,369 (328)	3,185 (62)	22 (2)	108	1,408 (60)	1,647	16	94	3,295 (62)	

※元島民数及び正会員数の()は、平成20年4月1日施行の旧漁業権者法の一部改正に伴う
新元居住者の内数